

平成30年度分

行政評価結果報告書

大多喜町

1 行政評価制度の導入について

行政評価は、行政サービスの向上を目的として、町が行っている政策・施策・事務事業を評価し、町民に対する説明責任や行政運営の透明性の向上、さらには改善や見直しを行うものです。

町では、制度導入に当たり事務事業評価を実施することにより、職員がそれぞれの仕事の目的や成果を意識し、事業の数値化、費用効果の分析、課題解決能力の習得を身につけ、職員の意識改革を図りながら行財政の体質改善を行います。

2 事務事業評価

事務事業評価は、単に事業のやり方を見直しコスト削減するためのものではなく、事業の成果に着目し、目的妥当性、有効性、効率性、公平性、優先性の視点から測定又は分析を行い、意思決定や事業内容の改善、見直しなどに活用するものです。

3 事務事業評価の公表内容について

公表内容は、平成30年度に実施した事務事業についての評価です。

評価事業については、大多喜町総合計画に掲げられた施策を構成する実施計画の事業及び予算における主要な事務事業を評価検証しています。

- ・ 1次評価：事務事業担当者が作成する評価表に基づき担当課長が評価を行いました。
- ・ 2次評価：事業担当課より提出された評価表のうち、大多喜町総合計画「未来づくり重点プロジェクト」に掲げられている事業及び総合計画を策定する際に実施した住民アンケートの結果、重要度が高く満足度の低い事業のうち、総合点が20点未満の事業について、庁内評価委員会により評価を行いました。

【評価の目安】

次の5項目ごとに、別紙の事務事業評価基準表に基づき評価しています。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 目的妥当性に対する評価 | 2. 有効性に対する評価 |
| 3. 効率性に対する評価 | 4. 公平性に対する評価 |
| 5. 優先性に対する評価 | |

【今後の方針】

次の6項目より今後の方針について示しています。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 事業拡大 | 2. 事業継続 | 3. 事業縮小 |
| 4. 事業休止 | 5. 事業完了 | 6. 事業廃止 |

事務事業評価基準表

評価項目	点数	内 容
目的 妥当性	チェック ポイント	事業の実施理由が適切なものであるか
		住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
	5点	住民ニーズに充分妥当であり、行政が関与すべき事業
	4点	住民ニーズに概ね妥当であり、行政が関与すべき事業
	3点	住民ニーズにある程度妥当であり、行政が関与すべき事業
	2点	住民ニーズに若干妥当性はあるが、行政があまり関与すべきでない事業
	1点	住民ニーズに妥当ではなく、行政が関与すべきではない事業
有効性	チェック ポイント	事業目的の期待通り実施されたか
		事業の成果はあったか
	5点	期待された成果が得られ、有効的であった
	4点	概ね期待された成果が得られ、有効的であった
	3点	ある程度成果は得られたが、さほど有効的ではなかった
	2点	若干の成果はあったがあまり期待通りではなかった
	1点	期待した成果は上げられなかった
効率性	チェック ポイント	投入された資源量（人・物・金）に見合う効果があったか
		費用対効果はどうか
	5点	投入された資源量に十分見合った効果が得られた
	4点	概ね投入された資源量に見合った効果が得られた
	3点	ある程度投入された資源量に見合った効果が得られた
	2点	若干投入された資源量に見合った効果は得られたが、あまり期待どおりではなかった
	1点	投入された資源量に見合った効果は上げられなかった
公平性	チェック ポイント	効果の受益及び費用負担が公平であるか
		町全体の計画として公平であるか
	5点	効果の受益と費用の負担が公平に配分されている
	4点	概ね効果の受益と費用の負担が公平に配分されている
	3点	ある程度効果の受益と費用の負担が公平に配分されている
	2点	若干効果の受益と費用の負担が不公平に配分されている
	1点	効果の受益と費用の負担が公平に配分されていない
優先性	チェック ポイント	他の事業より優先的に実施すべき事業か
		町全体の計画として優先すべきか
	5点	優先的に事業の実施をするのが妥当である
	4点	概ね優先的に事業の実施をするのが妥当である
	3点	ある程度優先的に事業の実施をするのが妥当である
	2点	優先的に事業の実施をするのはやや妥当性に欠ける
	1点	優先的に事業の実施をするほどではない

庁内行政評価委員会 第2次評価結果一覧

課名	No.	第3次総合計画	前期基本計画	第3次実施計画	目的 妥当性	有効性	効率性	公平性	優先性	総合	今後の 方針
企画課	7				4	4	3	3	3	17	②事業継続
	11				4	3	3	3	3	16	②事業継続
	14				4	4	3	3	4	18	②事業継続
	16				4	3	3	4	4	18	②事業継続
	17				4	4	3	4	4	19	②事業継続
	18				4	4	3	4	4	19	②事業継続
	19				4	4	3	4	4	19	②事業継続
	22				4	3	3	3	4	17	②事業継続
健康福祉課	37				3	2	2	3	4	14	②事業継続
	39				4	4	4	3	4	19	②事業継続
	45				4	1	1	3	3	12	②事業継続
建設課	50				4	3	3	3	4	17	⑤事業完了
	52				4	3	3	3	5	18	②事業継続
	60				4	4	4	3	4	19	②事業継続
	61				4	4	4	3	3	18	②事業継続
	62				4	4	3	4	3	18	②事業継続
	63				4	4	4	3	4	19	②事業継続
	64				4	3	3	3	3	16	②事業継続
	66				4	4	4	3	3	18	②事業継続

庁内行政評価委員会 第2次評価結果一覧

課名	No.	第3次総合計画 前期基本計画 第3次実施計画	目的 妥当性	有効性	効率性	公平性	優先性	総合	今後の 方針
産業 振興 課	71	街並み整備地区修景整備事業	4	3	2	3	3	15	②事業継続
	72	空き家等を活用した起業支援事業	4	3	3	3	3	16	②事業継続
	73	経営改善普及事業及び地域総合振興事業	3	3	3	3	3	15	②事業継続
	74	中小企業育成事業	4	3	3	3	3	16	②事業継続
	75	企業の誘致及び雇用促進事業	4	3	3	3	3	16	②事業継続
	76	観光レクリエーション振興	3	3	3	4	4	17	②事業継続
	77	観光案内看板、観光トイレ改修事業	4	1	1	4	4	14	②事業継続
	78	観光客誘致事業	4	3	3	3	3	16	②事業継続
	79	大河ドラマ誘致事業	4	3	3	3	4	17	②事業継続
	80	観光推進広域連携事業	4	3	3	3	3	16	②事業継続
	81	観光まちづくり推進事業	4	3	3	3	3	16	②事業継続
	82	遊歩道整備事業	4	3	3	3	3	16	②事業継続
教育 課	105	特色ある保育の実施	4	4	4	4	4	20	②事業継続
生涯 学習 課	108	結婚支援のための拠点づくり事業	4	4	3	4	3	18	②事業継続
	113	学習グループ・団体活動への支援充実	4	4	3	4	4	19	②事業継続

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 局	63	63	63	100.0%	63	100.0%	63	100.0%
	② 式	1	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	③ 基	1	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
活動指標	① 回	2	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	② 件	39	28	29	103.6%	32	110.3%	45	140.6%
	③								
成果指標	① 日	365	365	366	100.3%	365	99.7%	365	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	非常災害時における情報をいち早く住民に伝達し、災害から地域住民の生命、財産を守るためには、防災行政無線の適正な維持管理が必要であり、今後も計画的な更新を実施する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	347	346	353	102.0%	351	99.4%	352	100.3%
	②								
	③								
活動指標	① 人	347	346	353	102.0%	351	99.4%	352	100.3%
	② 回	4	5	4	80.0%	4	100.0%	4	100.0%
	③								
成果指標	① 人	2	-1	7	-700.0%	-2	-28.6%	1	-50.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	25	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	消防団員数が年々減少するなかで、今後は部の統廃合を視野に入れ、消防力の維持を図りたい。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①	9	9	11	122.2%	14	127.3%	17	121.4%
	②	68	68	68	100.0%	68	100.0%	68	100.0%
	③								
活動指標	①	1	1	1	100.0%	1	100.0%	2	200.0%
	②								
	③								
成果指標	①			2	100.0%	3	150.0%	3	100.0%
	②	9	9	11	122.2%	14	127.3%	17	121.4%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	今後も、自主防災組織設立についての説明・啓発等を行い設立推進を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①	1,257	1,258	1,311	104.2%	1,317	100.5%	1,322	100.4%
	②								
	③								
活動指標	①	11	5	5	100.0%	8	160.0%	6	75.0%
	②								
	③								
成果指標	①	5	5	8	160.0%	6	75.0%	5	83.3%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>防犯灯LED化事業実施に伴い、区管理防犯灯の設置及び維持管理補助金の交付はH27年度で終了した。</p> <p>今後、新規設置及び既存防犯灯の維持管理は町で行う。</p> <p>地区からの要望、通学路としての安全確保を確認し、更には現地調査を基に取捨選択しながら新規設置箇所を決定し、効果的な事業推進を図る。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人							9,323	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 回							1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 人							46	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	2	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	12	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>今回は、お城まつり実行委員会や町内で各種イベントを実施している団体や町職員を対象とした講習会を開催したが、お城まつり実行委員会や各種イベント団体が連携してまちづくり活動を行うきっかけに繋がらなかった。</p> <p>しかしながら、まちづくりの担い手となりえる人材はいると思われるため、地域の人々が学び、成長していくためには、引き続き継続して事業を実施していくことが不可欠であると思われる。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 箇所	64	64	64	100.0%	64	100.0%	64	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 件		1	1	100.0%	1	100.0%		
	②								
	③								
成果指標	① 件		1	1	100.0%	1	100.0%		
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	地域の要望を把握し、計画的に施設整備を実施することにより、地域コミュニティ活動が安定的に継続されるようにコミュニティの育成及び基盤の整備を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	地域の要望を把握し、計画的に施設整備を実施することにより、地域コミュニティ活動が安定的に継続されるようにコミュニティの育成及び基盤の整備を図る。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人			9,661	100.0%	9,471	98.0%	9,323	98.4%
	② 人			473	100.0%	473	100.0%	448	94.7%
	③								
活動指標	① 回			5	100.0%	6	120.0%	9	150.0%
	② 回			1	100.0%	2	200.0%	1	50.0%
	③								
成果指標	① 回					2	100.0%	2	100.0%
	② 人			32	100.0%	23	71.9%	10	43.5%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	2	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	12	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>今後は、地域の方が主体となったイベントを開催し、地域の方々が主体となって地域の課題解決に繋がる活動を生み出せる持続可能な組織や仕組みを構築する。地域高校との連携（地域高校の活性化）は、町の活性化においてなくてはならないものであり、一步一步進める必要があるが、取組み内容について再考の必要があると思われる。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 日	365	365	365	100.0%	365	100.0%	365	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 個	1	1	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	② 箇所					4	100.0%	2	50.0%
	③ 箇所					4	100.0%	3	75.0%
成果指標	① 日	873	875					876	100.0%
	② 人	2,721	2,741	2,950	107.6%	2,951	100.0%	2,702	91.6%
	③ 日					272		205	100.0%
	④ 箇所					3		2	100.0%
	⑤ 箇所					4	100.0%	3	75.0%

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	4	・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	21	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	国民の祝日及び日曜日並びに夜間における救急、急病の診療事業を実施することは、地域住民の生命と健康を守るうえで必要な事である。 今後の課題は、輪番制に参加していただける病院の増加を図り、地域住民の医療の確保に努める。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人					85	100.0%	51	60.0%
	②								
	③								
活動指標	① 回					4	100.0%	4	100.0%
	② 回					1	100.0%	0	
	③								
成果指標	① 人					-35	100.0%	-82	234.3%
	② 人					1,014,163	100.0%	943,627	93.0%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	15	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	町の賑わいを維持するために、人口減少対策は継続して行う必要がある。首都圏へのシティセールス活動を積極的に実施し、町の魅力を効果的にPRする方法や手段を工夫しながら各種事業を推進していく必要がある。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	町の賑わいを維持するために、人口減少対策や交流人口の増加対策は継続して行う必要がある。町の魅力を効果的にPRする方法や手段を工夫しながら各種事業を推進する。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 戸	5,630	5,634	5,614	99.6%	5,594	99.6%	5,598	100.1%
	② 戸		205	205	100.0%	205	100.0%	205	100.0%
	③								
活動指標	① 件	2	3	3	100.0%	3	100.0%	5	166.7%
	② 件	2				3	100.0%	1	33.3%
	③ 回			2	100.0%	2	100.0%	3	150.0%
成果指標	① 件	29	44	52	118.2%	62	119.2%	69	111.3%
	② 件	17	13	16	123.1%	11	68.8%	13	118.2%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>来年度から、空き家の登録に加え、空き地の登録登録も開始されたことから、広報紙および町ホームページを使って登録促進を図る。また、各種補助金は、所有者の経済的負担の軽減となる効果的な補助金であり、登録物件の増加が見込めるものであるが、登録件数が少ないため定住化の推進に繋がっていない。今後は、積極的に広報活動を実施し、新たな空き家・空き地の発掘及び登録を進める。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>空き家バンク制度の登録数の増加に効果的な事業である。広報活動に加え、空き家・空き地の所有者、相続人等に積極的に周知し、空き家バンク制度の充実を図る。</p>

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 数			163	100.0%	217	133.1%	122	56.2%
	②								
	③								
活動指標	① 回			3	100.0%	3	100.0%	1	33.3%
	②								
	③								
成果指標	① 人			10	100.0%	8	80.0%	7	87.5%
	② 人			4	100.0%				
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	2	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	2	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	13	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	④事業休止	入居者の中には、移住目的での利用かが疑わしいケースもあり、現在お試し居住については、他の利用目的で施設を使用しており、事業を中止している。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人			1	100.0%	3	300.0%	5	166.7%
	②								
	③								
活動指標	① 回			1	100.0%	3	300.0%	3	100.0%
	② 個			3	100.0%	4	133.3%	4	100.0%
	③								
成果指標	① 人			1	100.0%	4	400.0%	5	125.0%
	② 人			1	100.0%	1	100.0%	2	200.0%
	③ 人							1	100.0%

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	地域が描く「地域づくり」のイメージに共感し、協力してくれるような人材の獲得が必要である。また、委嘱期間満了後に必要となる企業セミナーを受講してもらい、委嘱期間終了後も町に定住・定着が図れるよう、今後の在り方について検討が必要である。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	各市町村で地域起こし協力隊員の募集を実施しているため、町の募集の時期を早め、応募者を確保する必要がある。また、採用した協力隊員には、委嘱期間終了後も町に定住・定着が図れるように、本人の計画的な各種取組をフォローして、定住化を促進する。

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	1,729	1,685	1,638	97.2%	1,610	98.3%	1,546	96.0%
	② 人	19	16	15	93.8%	13	86.7%	44	338.5%
	③ 人	16,610	11,841	14,700	124.1%	11,946	81.3%	8,666	72.5%
活動指標	① 千円	21,012	20,577	18,168	88.3%	19,003	104.6%	22,013	115.8%
	② 千円	6,842	6,559	6,179	94.2%	5,628	91.1%	6,107	108.5%
	③ 千円	14,170	14,018	11,989	85.5%	13,375	111.6%	15,906	118.9%
成果指標	① 人	46,724	46,256	43,689	94.5%	39,539	90.5%	40,255	101.8%
	② 人	1	1	1	83.3%	1	100.0%	1	100.0%
	③								

4. 評価			
視 点	評 価	評 価 内 容	
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか 	
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか 	
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか 	
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか 	
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか 	
総 合	19		

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>人口減少に伴い路線バス利用者も減少傾向にあるものの、地域高齢者等の路線バスに対する一定の交通需要は存在する。また、平成30年度から当該バス路線を通学に対応するために再編をし、地域公共交通としての役割が高まった。</p> <p>今後も、地域公共交通網形成計画に沿って、更に利便性の高い公共交通ネットワークへの再編を目指し交通事業者との協議調整を図っていききたい。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>中学校の統合に伴い、路線バスの再編を実施し、地域公共交通としての役割が高まった。更に利便性の高い公共交通ネットワークを目指し、利用者及び交通事業者と協議調整を図って行く。</p>

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	6,255	4,848	5,070	104.6%	4,206	83.0%	3,072	73.0%
	② 人	1,078	1,043	1,018	97.6%	1,009	99.1%	974	96.5%
	③								
活動指標	① 日	87	83	79	95.2%	81	102.5%	80	98.8%
	② 円	2,506	2,864	2,726	95.2%	2,795	102.5%	2,760	98.7%
	③ 円	702	840	962	114.5%	777	80.8%	798	102.7%
成果指標	① 人	2,289	2,609	2,869	110.0%	2,447	85.3%	2,465	100.7%
	② 人	26	31	36	116.1%	30	83.3%	31	103.3%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>主要駅からの二次交通として、既存公共交通の交通空白を補完している当臨時バスの役割は重要である。利用者数は、観光客数の増減により大きく影響を受けるが、観光及び生活（通学）路線として継続していく。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>主要駅からの二次交通として、既存公共交通の交通空白を補完している当臨時バスの役割は重要である。利用者数は、観光客数の増減により大きく影響を受けるが、観光及び生活（通学）路線として継続していく。</p>

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	25,941	24,177	24,016	99.3%	23,295	97.0%	23,057	99.0%
	② 本	4	4	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%
	③								
活動指標	① 千円	9,525	10,054	10,253	102.0%	9,712	94.7%	10,006	103.0%
	② 千円	2,888	2,721	2,686	98.7%	2,586	96.3%	2,643	102.2%
	③ 千円	6,637	7,333	7,567	103.2%	7,126	94.2%	7,363	103.3%
成果指標	① 人	25,491	24,177	24,016	99.3%	23,295	97.0%	23,057	99.0%
	② 人	2	2	2	93.8%	2	100.0%	2	100.0%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	人口減少に併せ路線バス利用者も減少傾向にあるものの、路線バスに対する一定の交通需要は存在する。バス事業者の労務・運行体系の見直しにより平成29.4から18:10大多喜～19:15一宮～19:53大多喜の1往復が減便された。本補助制度を継続しつつ、現状での利便性が低下することのないようバス事業者及び関係する学校との連携を図りたい。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	人口減少に併せ路線バス利用者も減少傾向にあるものの、路線バスに対する一定の交通需要は存在する。現状での利便性が低下することのないようバス事業者及び関係する学校との連携を図る。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 千円	65,588	146,403	20,610	14.1%	36,137	175.3%	22,064	61.1%
	②								
	③								
活動指標	① 千円	43,725	97,602	13,740	14.1%	21,659	157.6%	14,709	67.9%
	② 千円	21,862	48,801	6,870	14.1%	10,829	157.6%	7,354	67.9%
	③ 千円	21,863	48,801	6,870	14.1%	10,830	157.6%	7,355	67.9%
成果指標	① 千円	-210,089	-145,084	-142,208	98.0%	-153,155	107.7%	-176,017	114.9%
	② 千円	-60,794	-6,899	-26,908	390.0%	64,680	-240.4%	36,692	56.7%
	③ 人	393,247	382,415					335,368	100.0%

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	22	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	地域の重要な公共交通としての役割は大きい。千葉県が主体となるいすみ鉄道活性化協議会による長期収支計画により経営状況のローリングが行われ、今後、更なる会社としての経営努力が求められる。町としては、引き続き上下分離方式による役割を担う必要がある。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分		単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①	千円	105,194	120,636	98,950	82.0%	194,305	196.4%	121,430	62.5%
	②									
	③									
活動指標	①	円	105,194	120,636	98,950	82.0%	194,305	196.4%	121,430	62.5%
	②	円	52,597	60,318	49,475	82.0%	97,153	196.4%	60,715	62.5%
	③	円	24,386	27,966	22,939	82.0%	97,153	423.5%	60,715	62.5%
成果指標	①	千円	-210,089	-145,084	-142,208	98.0%	-153,155	107.7%	-176,017	114.9%
	②	千円	-60,794	-6,899	-26,908	390.0%	64,680	-240.4%	36,692	56.7%
	③	人	393,247	382,415					335,368	100.0%

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	22	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	地域の重要な公共交通としての役割は大きい。千葉県が主体となるいすみ鉄道活性化協議会による長期収支計画により経営状況のローリングが行われ、今後、更なる会社としての経営努力が求められる。町としては、引き続き上下分離方式による役割を担う必要がある。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 千円		1,100	730	66.4%	1,321	181.0%	469	35.5%
	② 人		2,352	1,840	78.2%				
	③ 人								
活動指標	① 千円		600	473	78.8%	878	185.6%	409	46.6%
	② 人		1,971	1,850	93.9%				
	③ 冊								
成果指標	① 人	174,847	171,275	179,011	104.5%	175,883	98.3%	152,368	86.6%
	② 円	59,561	62,763	67,193	107.1%	63,583	94.6%	56,159	88.3%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	平成29年度から、イベント列車でのフリー乗車券費用を適用外とし、小中学校等の団体運賃助成のほか利用増進に係るイベント経費を対象とした。 いすみ鉄道の主体性と創意工夫をもって利用増大事業が実施されるよう、制度を見直しつつ、側面的支援を行い効果的な補助金活用を促す。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	いすみ鉄道利用者の増大を図るため、いすみ鉄道と協議しながら、より効果的な補助事業を実施する。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 千円			56,130	100.0%	55,434	98.8%	51,114	92.2%
	②								
	③								
活動指標	① 千円			70,335	100.0%	81,857	116.4%	84,117	102.8%
	② 千円			14,203	100.0%	26,420	186.0%	33,001	124.9%
	③								
成果指標	① 人		2,132	13,148	616.7%	18,912	143.8%	21,535	113.9%
	② 千円		4,175	21,615	517.7%	29,157	134.9%	34,179	117.2%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	22	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>本事業は、生活及び観光路線に加え、町の人口増対策、移住定住対策にとって重要な路線である。</p> <p>利用者数、運行収入ともに増加傾向にあるため、今後も継続して利用増大を目的に広報の拡充と補助制度の充実に取り組み当該路線の持続可能な路線維持を図る。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 法人			9	100.0%	11	122.2%	13	118.2%
	② 人			39	100.0%	44	112.8%	89	202.3%
	③								
活動指標	① 円			36,200	100.0%	109,030	301.2%	270,900	248.5%
	② 円			235,000	100.0%	232,980	99.1%	255,000	109.5%
	③								
成果指標	① 件			98	100.0%	283	288.8%		
	② 冊			93	100.0%	77	82.8%	105	136.4%
	③ 冊							152	100.0%

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	22	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	平成30年度から通勤及び三育学院生の通学に対する補助制度を設けた。今後も利用増進を図るため、当該補助制度の周知強化を図るとともに、制度内容の拡充を検討する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 千円			5,832	100.0%	3,674	63.0%	2,660	72.4%
	②								
	③								
活動指標	① 千円			69	100.0%	110	159.4%	102	92.7%
	② 千円			2,495	100.0%	2,000	80.2%	1,782	89.1%
	③								
成果指標	① 千円			2,564	100.0%	2,110	82.3%	1,884	89.3%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	21	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	平成28年3月策定の網計画に記載の実施事業について、平成30年度に実績の評価を行い、網計画の中間見直しを行った。計画期間の最終年度である令和2年度に向けて、改めて網計画の事業実績評価及び網計画記載の実施事業の内容を再検討し、網計画の見直し等について検討する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①			59	100.0%	75	127.1%	84	112.0%
	②								
	③								
活動指標	①			210	100.0%	341	162.4%	354	103.8%
	②			779	100.0%	1,219	156.5%	1,237	101.5%
	③								
成果指標	①		757	994	131.3%	1,070	107.6%	1,070	100.0%
	②		2,425	3,260	134.4%	3,619	111.0%	3,526	97.4%
	③		171,275					152,368	100.0%

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	いすみ鉄道利用増大に併せ、免許返納対策としても当該事業を有効に活用したい。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 回線	3,901	3,853	3,826	99.3%	3,821	99.9%	3,797	99.4%
	②								
	③								
活動指標	① 回線	1,350	1,350	1,350	100.0%	1,350	100.0%	1,350	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 世帯	1,849	1,924	2,019	104.9%	2,136	105.8%	2,250	105.3%
	②								
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	整備からの年数経過（平成23年3月～8年経過）に伴う光ファイバー網等の基盤の維持管理費用の増加が見込まれることから、事業者と連携した計画的な整備計画の策定が必要と考えられる。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 円/㎡	277.88	277.85	278.36	100.2%	278.04	99.9%	280.92	101.0%
	②								
	③								
活動指標	① 円	75,000	73,000	73,000	100.0%	70,000	95.9%	70,000	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 円/㎡	233.92	233.03	235.72	101.2%	235.23	99.8%		
	② %	118.79	119.23	118.09	99.0%	118.20	100.1%		
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	水道事業は住民の生活に直接的に影響する事業であり、水道事業を健全に運営してゆくためにも、他水道事業との料金格差に注視しつつ、高料金対策補助金操出事業は継続すべきと考える。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 数	6,228	6,163	6,101	99.0%	6,030	98.8%	5,893	97.7%
	② 人	14,582	14,341	14,103	98.3%	13,897	98.5%	13,553	97.5%
	③								
活動指標	① 数	659	644	557	86.5%	589	105.7%	570	96.8%
	②								
	③								
成果指標	① 件	6,518	6,418	6,196	96.5%	6,303	101.7%	6,653	105.6%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	21	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	戸籍システムの電算化により、戸籍届書の審査や受理、諸証明発行、照会対応等に要する時間が大幅に縮減された。安定的で確実な戸籍事務の運営にあたり事業の継続が必要と考える。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件	5,775	5,775	5,644	97.7%	5,633	99.8%	5,611	99.6%
	②								
	③								
活動指標	①								
	②								
	③								
成果指標	①	82,828	82,776	82,705	99.9%	82,685	100.0%	82,849	100.2%
	②								
	③								

4. 評価			
視 点	評 価	評 価 内 容	
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか 	
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか 	
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか 	
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか 	
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか 	
総 合	21		

5. 評価結果による今後の方針、改革改善			
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容	
今後の方針	②事業継続	<p>近年、相続により土地の位置を知りたいという問合せが増加している。航空写真付きの地番図は位置の微調整が必要なことから発行していないが、航空写真の導入は課税賦課には必要不可欠である。県内でも導入している自治体がほとんどであるため、千葉県が主導となって県下統一の航空写真を導入してもらえようように要望したところである。</p>	

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容	
今後の方針			

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件	5,775	5,775	5,644	97.7%	5,633	99.8%	5,611	99.6%
	② 件	462	427	385	90.2%	385	100.0%	524	136.1%
	③								
活動指標	①								
	②								
	③								
成果指標	① 件	1,045	1,025	1,070	104.4%	1,050	98.1%	1,125	107.1%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	22	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	固定資産税の賦課において法務局からの土地の分合筆や家屋の新築、滅失などの異動情報を把握し、公図および地番図への正確な情報反映は適正な課税をする上で極めて重要な作業となっている。今後も適正な課税を進める上では必要な業務であり、また、広く一般の閲覧に供していくためにも事業の継続性は高い。地番図システムと公図システムを統合し経費の節減に努めた。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件	5,775	5,775	5,644	97.7%	5,633	99.8%	5,611	99.6%
	②								
	③								
活動指標	① 箇所			102	100.0%				
	② 箇所	18	18	18	100.0%	18	100.0%	18	100.0%
	③								
成果指標	① 筆	10,785	10,807	10,842	100.3%	10,855	100.1%	11,057	101.9%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	空き土地などの活用、太陽光発電用地へ転用などにより、土地の評価について注目度が上がってきている。内房方面はアクアラインの開通により土地の価格が上昇しているが、山間部になると下落が続いている。近隣市町村との調整を図るためにも専門家に委託することが望ましい。委託料の節減には交渉の上、努めている。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件	5,775	5,775	5,644	97.7%	5,633	99.8%	5,611	99.6%
	②								
	③								
活動指標	①								
	②								
	③								
成果指標	① 件	50	52	31	59.6%	41	132.3%	38	92.7%
	②								
	③								

4. 評価			
視 点	評 価	評 価 内 容	
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか 	
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか 	
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか 	
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか 	
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか 	
総 合	19		

5. 評価結果による今後の方針、改革改善			
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容	
今後の方針	②事業継続	<p>昨今の住宅建築は、住宅メーカーや工務店の技術の向上により設計書と差異がなく建築され、設計書において評価も可能となっている。しかしながら、デザイン住宅の普及により、細かな調整や確認が必要と考える。未登記家屋や倉庫などの設計書を用いない建築物に対しては、より正確で専門的な評価が必要であるため業務委託の導入も検討していきたい。</p>	

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容	
今後の方針			

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	9,910	9,661	9,471	98.0%	9,323	98.4%	9,065	97.2%
	② 数	3,901	3,853	3,826	99.3%	3,810	99.6%	3,797	99.7%
	③								
活動指標	① 件	1,998	1,488	1,345	90.4%	1,756	130.6%	1,969	112.1%
	②								
	③								
成果指標	① 人	9,910	9,661	9,471	98.0%	9,323	98.4%	9,065	97.2%
	② 数	3,901	3,853	3,826	99.3%	3,810	99.6%	3,797	99.7%
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	住民基本台帳ネットワークシステムは、日本国内全ての自治体が参加しているシステムであり、今後も引続き事業を継続する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移										
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比	
対象指標	① 件数	45	54	28	51.9%	42	150.0%	26	61.9%	
	②									
	③									
活動指標	① 件数	45	54	28	51.9%	42	150.0%	26	61.9%	
	②									
	③									
成果指標	① 件数	45	54	28	51.9%	42	150.0%	26	61.9%	
	②									
	③									

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	2	・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	2	・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	15	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	出産祝金を交付後の転出が昨年度2件あり。返還金の支払いは、分割納入にする等に対応しているが、転出者にとって負担が大きくなっている。また、出生数が減少しており、出産祝金が定住化等人口減少対策への効果として表れていない可能性がある。子育て世代にとって有効であり、定住化に結びつく効果的な事業に改善する必要がある。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	定住化に向けて必要な事業であるが、出産時1回だけの祝金に代え、複数年にわたる祝金や祝品の支給又は節目の年に達した場合に支給する祝金や祝品の支給等を検討する。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	1,009	922	922	100.0%	863	93.6%	816	94.6%
	②								
	③								
活動指標	① 件	9,161	10,247	11,493	100.0%	10,757	93.6%	11,413	106.1%
	②								
	③								
成果指標	① 千円	22,701	24,024	27,802	115.7%	24,547	88.3%	27,322	111.3%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	中学生まで医療費が無料なので、子育て家庭への負担軽減となっており、子どもたちが公平に医療を受けられる環境が提供できている。今後も事業を継続していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	169	184	149	81.0%	146	98.0%	160	109.6%
	②								
	③								
活動指標	① 件数	54	80	57	71.3%	27	47.4%	36	133.3%
	②								
	③								
成果指標	① 千円	1,386	1,141	530	46.5%	423	79.8%	593	140.2%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	ひとり親とその子どものうち高校生にかかる医療費の助成であるこの事業は、ひとり親家庭の負担軽減となっている。今後も事業継続が必要である。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	ひとり親とその子どものうち高校生にかかる医療費の助成であるこの事業は、ひとり親家庭の負担軽減となっている。今後も事業継続が必要である。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①								
	②								
	③								
活動指標	①								
	②								
	③								
成果指標	①								
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	小児医療体制の充実は夷隅地域全体の課題である。近隣市町の医療機関とも協力体制を構築し、夜間及び休日の小児医療体制を整備していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件数			11	100.0%	4	36.4%	3	75.0%
	②								
	③								
活動指標	① 回数			1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 件数			11	100.0%	4	36.4%	3	75.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	申請件数は減少しているが、特定不妊申請者のほぼ全員が妊娠に至っており、不妊治療の効果が表れている。治療に係る費用負担が大きいので、助成額を増額する予定。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人							9,258	100.0%
	②	(内訳)	(内訳)	(内訳)	(内訳)	(内訳)		H30.4月末	外国人除く
	③	一般町民	一般町民その他	小中学生	小中学生保護者	保育園保護者			
活動指標	① 通	1,200	83	364	347	186		2,180	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 通	679	56	359	326	153		1,573	100.0%
	②	(回収率)	(回収率)	(回収率)	(回収率)	(回収率)			
	③	56.6%	67.5%	98.6%	93.9%	82.3%			

4. 評価			
視 点	評 価	評 価 内 容	
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか 	
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか 	
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか 	
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか 	
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか 	
総 合	19		

5. 評価結果による今後の方針、改革改善			
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容	
今後の方針	⑤事業完了	事業完了	

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容	
今後の方針			

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	399	430	443	103.0%	458	103.4%	478	104.4%
	②								
	③								
活動指標	① 台	5	7	11	157.1%	5	45.5%	14	280.0%
	②								
	③								
成果指標	① 人	50	46	42	91.3%	42	100.0%	42	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	平成30年度中、緊急通報で1件と安否通報で1件、計2件の救急車の出動要請があった。緊急通報の1件については、大事には至りませんでした。安否通報の1件については、協力員に訪問していただきましたがすでに亡くなられていた。引き続き定期的に広報や回覧等で本事業の周知を行い、ひとり暮らし高齢者等の見守りを強化していく。また、協力員の確保が難しくなっていることから、外部協力員（警備会社等）への委託等も検討していく必要がある。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①			2	100.0%			2	100.0%
	②					1	100.0%		
	③								
活動指標	①			2	100.0%			2	100.0%
	②								
	③								
成果指標	①			1	100.0%			1	100.0%
	②								
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	第7期介護保険事業計画において引き続き施設整備を図るべく令和元年度中の事業所開設を目指した事務事業の推進

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①								
	②								
	③								
活動指標	①								
	②								
	③								
成果指標	①								
	②								
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	1	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	1	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	15	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	令和元年度においても平成30年度と同様に整備運営事業者を公募する。令和元年度においても整備運営事業者がない場合、事業用地の確保や既存の町特別養護老人ホームの建替え等も含めて検討していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	平成30年度は公募による応募事業者がなく施設整備にいたらなかったが、令和元年度も引き続き施設整備運営事業者を公募する。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①	255	258	252	97.7%	249	98.8%	246	98.8%
	②								
	③								
活動指標	① 人	173	176	184	104.5%	206	112.0%	208	101.0%
	② 世帯	21	61	55	90.2%	64	116.4%	46	71.9%
	③								
成果指標	① 人	1,852	1,911	1,856	97.1%	1,843	99.3%	1,868	101.4%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	25	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	平成30年度新規利用者は42名、資格喪失者は59名であった。平成30年度から老川地区、西畑・総元地区の一部の地域でスクールバスを利用したデマンド交通が試験運用となった。平日のみの対応となるため、登録者は伸び悩んでいる様子。デマンドの利用状況を確認しながら、本サービスの利用方法について検討していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	4,537	4,753	4,550	95.7%	4,556	100.1%	4,522	99.3%
	②								
	③								
活動指標	①								
	②								
	③								
成果指標	① 件	431	405	430	106.2%	470	109.3%	538	114.5%
	② 人	77	68	81	119.1%	79	97.5%	85	107.6%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	昨年度と比較し受託件数は68件増となった。引き続き、広報の掲載や町広報を活用し、新規利用者の掘り起こしや企業、事業所等への営業努力により受託件数を増やしていく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 千円	75,316	59,551	56,775	95.3%	72,220	127.2%	55,878	77.4%
	② 千円	250	268	644	240.3%	248	38.5%	252	101.6%
	③								
活動指標	① 千円	21,641	21,660	21,681	100.1%	22,431	103.5%	23,960	106.8%
	② 千円	228	233	644	276.4%	246	38.2%	233	94.7%
	③								
成果指標	① 人	348	348	398	114.4%	378	95.0%	387	102.4%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	ボランティア参加人数は、昨年度と比較し、9人の増となった。しかし、ボランティアの活動内容に偏りがあり、不足しているものもあるため、広報等を利用しボランティア活動への参加を呼び掛けていく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 戸					6	100.0%	20	333.3%
	② 人					6	100.0%	32	533.3%
	③								
活動指標	① 戸					6	100.0%	5	83.3%
	②								
	③								
成果指標	① 戸					6	100.0%	6	100.0%
	② 人					6	100.0%	6	100.0%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	16	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	現時点では空室があるが、今後、町関係課と協議を行い町内企業への勧誘を積極的に行い定住化等の促進を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	⑤事業完了	住宅建設事業は完了したため、今後は住宅の有効活用を図り、町内企業への利用促進を積極的に推進し、定住化への促進を図る。

大多喜町事務事業評価表

事務事業No.

51

平成 30 年度事業分 (事後 評価)

事務事業名		地籍調査事業			予算措置	一般	所 属	
実施 計画	基本目標	生活基盤			款	7. 土木費	課 名	建 設 課
	施策項目	土地利用			項	1. 土木管理費	係 名	管 理 係
	主要施策	地籍調査の推進			目	3. 国土調査費		
計画期間	平成	30	年度～令和	2	年度	事業	国土調査事業	
法令根拠	国土調査法			個別計画	大多喜町地籍調査事業計画			

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

地籍調査事業については、平成5年度に上瀑地区から開始し、平成30年度は「堀之内、八声、柳原、上原、小谷松、部田」の調査を実施いたしました。町要調査面積107.35km²に対し、平成29年度までに調査済み面積19.82km²(18.5%)、登記済み面積8.79km²という状況である。これまでの進捗率では、調査完了に相当の年数を要するとともに、調査済みでありながら登記に至っていない地区が多数残されている状況となっている。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

調査対象地区の毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行う。

指標名称(対象の大きさを表す)

対象 指標	① 要調査実施面積
②	
③	

◆手段 (具体的なやり方、手順)

調査工程のうち各種測量、一筆地調査及び成果作成を業務委託により実施(基準点測量、一筆地調査(境界立会ほか)、地籍測定、地籍簿及び地籍図作成)

指標名称(手段や活動内容を示す)

活動 指標	① 調査面積
②	調査済み面積
③	

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

調査成果である地籍簿及び地籍図により、現状に基づく登記情報に改める。
また、調査成果により各種公共事業の円滑化、災害復旧対策及び課税の適正化等を図る。

指標名称(目的の達成度を示す)

成果 指標	① 登記済み面積
②	
③	

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総 事 業 費		10,098	85,494	846.6%	153,437	179.5%	99,495	64.8%
国庫支出金								
県支出金		7,573	64,120	846.7%	115,038	179.4%	69,575	60.5%
地方債								
その他								
一般財源		2,525	21,374	846.5%	38,399	179.7%	29,920	77.9%
総 所 要 時 間		2,650	5,112	192.9%	5,487	107.3%	6,229	113.5%
職員(時間内)		1,800	3,840	213.3%	3,840	100.0%	3,840	100.0%
職員(時間外)		50	120	240.0%	111	92.5%	85	76.6%
非常勤職員		800	1,152	144.0%	1,536	133.3%	2,304	150.0%

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① km ²		107.35	107.35	100.0%	107.35	100.0%	107.35	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① km ²		0.28	2.15	767.9%	2.80	130.2%	1.97	70.4%
	② km ²		14.87	17.02	114.5%	19.82	116.5%	21.79	109.9%
	③								
成果指標	① km ²		8.79	8.79	100.0%	8.79	100.0%	8.79	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	14	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	今後の町全体に対する調査計画を策定し事業の推進を大幅に高めるとともに、未登記となっている成果については必要に応じ業者委託も活用しながら事業目的の達成に努める。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 区画		68	68	100.0%	68	100.0%	68	100.0%
	② 区画		9	8	88.9%	6	75.0%	5	83.3%
	③								
活動指標	① 件		1	1	100.0%	2	200.0%	1	50.0%
	②								
	③								
成果指標	① 人		4					6	100.0%
	② 区画		59	60	101.7%	62	103.3%	63	101.6%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	効率的な広報活動や事業者等の協力をいただきながら販売方法等を検討し、早期完売できるよう努める。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	効率的な広報活動や事業者等の協力を得ながら早期完売できるよう努める。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人		199	205	103.0%	208	101.5%	225	108.2%
	② 人		9,661	9,471	98.0%	9,323	98.4%	9,065	97.2%
	③								
活動指標	① 件		20	16	80.0%	12	75.0%	14	116.7%
	② 件		25	19	76.0%	18	94.7%	14	77.8%
	③								
成果指標	① 人		71	61	85.9%	38	62.3%	49	128.9%
	② 人		69	58	84.1%	61	105.2%	41	67.2%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	周知方法を検討し効率的な周知広報活動を行い、一人でも多くの方に制度を活用していただき、定住人口の増加を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 戸		111	111	100.0%	111	100.0%	111	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 戸		6						
	② 戸					10	100.0%	4	40.0%
	③								
成果指標	① 戸		108	102	94.4%	105	102.9%	99	94.3%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	更新コストの縮減を目指すためには、点検を強化し早期の管理修繕が必要となることから、平成28年度に策定した長寿命化計画を基に計画的な改修を実施する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① m		250, 132	250, 132	100.0%	250, 132	100.0%	251, 623	100.6%
	②								
	③								
活動指標	① m		250, 132	250, 132	100.0%	250, 132	100.0%	251, 623	100.6%
	②								
	③								
成果指標	① %		100	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	道路台帳の電子化は、予定どおり実施することができた。今後は、補正作業等が主なものになるが、経費を掛けずに実施する方法を検討していきたい。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 橋	90	90	90	100.0%	91	101.1%	91	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 橋	72	72	76	105.6%	76	100.0%	76	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 橋		1	1	100.0%				
	② 橋	4	6	7	116.7%	8	114.3%	8	100.0%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	橋梁の定期点検・計画策定及び見直し・修繕設計・修繕工事に多額の経費を必要とするため、交付金等を活用して財源を確保しつつ橋梁長寿命化事業の推進を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 箇所	25	25	25	100.0%	25	100.0%	25	100.0%
	② m	251,254	250,562	250,562	100.0%	251,768	100.5%	251,768	100.0%
	③								
活動指標	① 箇所	25	25	25	100.0%	25	100.0%	25	100.0%
	② m	47,620	47,620	47,620	100.0%	47,620	100.0%	47,620	100.0%
	③								
成果指標	① 箇所								
	② m								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	道路インフラについて、日常的にパトロールを実施し、常に安全で安心な利用ができるように適切な維持管理を行う必要がある。定期で専門的な点検を実施し、点検結果に基づき修繕計画を策定し、修繕工事を計画的に実施する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比	
対象指標	①	m	251,254	250,562	250,562	100.0%	251,768	100.5%	251,768	100.0%
	②									
	③									
活動指標	①	m	52	209	574	274.6%	643	112.0%	583	90.7%
	②									
	③									
成果指標	①	m	148,211	148,211	150,256	101.4%	146,880	97.8%	146,880	100.0%
	②									
	③									

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	21	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>インフラ長寿命化計画や町総合計画を盛り込んだ道路整備計画の策定が急がれる。また、道路整備計画は、町道認定や未登記処理等の道路管理全般の課題も考慮しなければならない。計画策定後は、それに基づいた事業の実施が求められる。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① m			101,809	100.0%	101,809	100.0%	103,660	101.8%
	②								
	③								
活動指標	① m								
	② 回			1	100.0%	1	100.0%	3	300.0%
	③								
成果指標	① m								
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	関係地区の合意や用地確保を早めるため、関係地区との協議の場を多く持ち地域住民への啓発を促すことが必要となる。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 地区	58	55	48	87.3%	45	93.8%	45	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 地区	5	8	15	187.5%	18	120.0%	18	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 地区	5	8	15	187.5%	18	120.0%	18	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	多面的機能支払交付金を実施している集落組織については、耕作放棄地の解消や、施設整備等一定の効果があり、今後も法制化された事業であることから、事業は継続したい。多面的機能支払交付金については、要望集落も増加し、職員の事務量が増え負担が多いことから活動組織を統合する広域化を視野に検討する必要がある。また、近年国の予算が厳しく、今後満額交付されないことが予想されるため、その旨を活動組織に理解してもらう必要があると考える。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	農業生産環境整備の推進のため、活動団体数の増加を図るとともに、事務作業の効率的な執行のため、団体の集約・広域化を検討する。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 地区	63	63	63	100.0%	63	100.0%	63	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 地区	9	15	12	80.0%	8	66.7%	8	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 地区	9	15	12	80.0%	8	66.7%	8	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	現状と課題に記したように、複数年計画により整備を行う農家組合等には、整備費用の一部を支援できるので事業継続としたい。また、小規模災害等への支援もこの事業で行っている。なお、多面的機能支払交付金事業を行っている団体については、多面的を優先に対応してもらいたい。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	農林道、用排水路等の維持管理に関しては地域関係者の協力が大変重要であり、後継者不足等により維持管理に要する資材の支給は今後も継続して実施する。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 地区	2	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 件	1	1	2	200.0%	2	100.0%	1	50.0%
	②							1	100.0%
	③								
成果指標	① 件			1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	農業振興や防災の観点から揚水機、ため池、排水路等の農業施設の整備補修は重要であり、今後も地域の要望に応じて計画的に事業を実施していくべきと考える。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	農業振興や防災の観点から揚水機、ため池、排水路等の農業施設の整備補修は重要であり、今後も地域の要望に応じて計画的に事業を実施して行く。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 戸	1,910	1,910	1,910	100.0%	1,897	99.3%	1,850	97.5%
	②								
	③								
活動指標	① 件		215	77	35.8%	72	93.5%	70	97.2%
	②								
	③								
成果指標	① %	11.4	11.5	11.7	101.7%	12.4	106.0%	12.5	100.8%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	引き続き農家台帳システムを有効活用し、担い手への集積等を図り、農業生産基盤の維持・管理に努める。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	引き続き農家台帳システムを有効活用し、担い手への集積等を図り、農業生産基盤の維持・管理に努める。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①	5	5	5	100.0%	5	100.0%	3	60.0%
	②								
	③								
活動指標	①	2	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	②								
	③								
成果指標	①	5	5	5	100.0%	5	100.0%	3	60.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	16	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>国制度を活用したなかで今後も就農支援を継続したい。 就農直後の不安定な収支を支援することで、就農促進及び持続可能な農業経営を推進していきたい。また、関係機関と連携して継続的なサポート体制を確立する。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>国制度を活用したなかで今後も就農支援を継続する。 就農直後の不安定な収支を支援することで、就農促進及び持続可能な農業経営を推進する。また、関係機関と連携して継続的なサポート体制を確立する。</p>

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①								
	②								
	③								
活動指標	①					1	100.0%		
	②								
	③								
成果指標	①					1	100.0%		
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	1	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	1	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	2	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	9	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	⑥事業廃止	平成30年度末にて本事業交付要綱廃止。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

事務事業No.

66

平成 **30** 年度事業分 (**事後** 評価)

事務事業名		農業関係施設維持管理事業			予算措置	一般	所 属	
実施 計画	基本目標	産業・経済			款	5. 農林水産業費	課 名	産業振興課
	施策項目	農林業			項	1. 農業費	係 名	農 政 係
	主要施策	生産性の向上推進			目	6. 農業施設費		
計画期間	平成 30 年度	～令和 2 年度			事業	集落センター管理運営事業 味の研修館管理運営事業 農村コミュニティセンター管理運営事業		
法令根拠				個別計画				

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

農業関係施設については、既に建築及び導入から相当な年数が経過しているものがあるため、急な修繕及び備品の故障等があった場合、利用者に迷惑をかけてしまっている。このことから、器具の修繕及び更新するにしても、多額の費用を要するため、ある程度計画的に修繕及び更新を行う必要がある。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

農業関連施設を利用者に適切に使用してもらうために、施設の修繕及び備品の更新を行う。

指標名称(対象の大きさを表す)

- | | |
|----------|-------------|
| 対象
指標 | ① 農業関連管理施設数 |
| ② | |
| ③ | |

◆手段 (具体的なやり方、手順)

利用者に備品等を適正に扱っていただけるよう臨時職員を配備する。

指標名称(手段や活動内容を示す)

- | | |
|----------|--------------------|
| 活動
指標 | ① 勤務日数(味の研修館) |
| ② | 勤務日数(農村コミュニティセンター) |
| ③ | |

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

集落センター、農村コミュニティセンター、味の研修館の利用者数を増やすことにより、地域連帯感の高揚及びよりよい暮らしをするための知識と技術を習得する。

指標名称(目的の達成度を示す)

- | | |
|----------|----------|
| 成果
指標 | ① 施設利用者数 |
| ② | |
| ③ | |

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総事業費	11,881	31,591	7,695	24.4%	9,130	118.6%	14,360	157.3%
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	11,881	31,591	7,695	24.4%	9,130	118.6%	14,360	157.3%
総所要時間	2,098	2,741	2,679	97.7%	2,511	93.7%	1,973	78.6%
職員(時間内)	52	52	52	100.0%	52	100.0%	98	188.5%
職員(時間外)								
非常勤職員	2,046	2,689	2,627	97.7%	2,459	93.6%	1,875	76.3%

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①棟	3	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%
	②								
	③								
活動指標	①人	264	326	272	83.4%	266	97.8%	242	91.0%
	②人		21	67	319.0%	68	101.5%	49	72.1%
	③								
成果指標	①人	10,325	7,905	7,668	97.0%	6,901	90.0%	7,623	110.5%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	利用者が使用するためには、適切な維持管理は必須と考えることから、今後も建物の修繕及び備品の更新について計画的に予算要求する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	公の施設の設置目的を達成するため、建物と設備の修繕や更新を計画的に実施する。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	10,124	9,910	9,661	97.5%	9,471	98.0%	9,323	98.4%
	② 社	515	515	515	100.0%	512	99.4%	512	100.0%
	③ 会員	199	189	185	97.9%	185	100.0%	170	91.9%
活動指標	① 店	24	24	25	104.2%	25	100.0%	22	88.0%
	② 部	400	400	400	100.0%	400	100.0%	400	100.0%
	③								
成果指標	① 人		959	811	84.6%	767	94.6%	750	97.8%
	② 杯	530	271	327	120.7%	299	91.4%	261	87.3%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	2	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	12	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	町の産業をPRする場としては、この「産業まつり」は絶好の機会であることを生産者に再認識してもらうとともに、マンネリ化しているイベント内容も少しづつでも見直しを行い、沢山の人が来てもらえるよう改善を図る。また、広く周知を行いたいので、今までは町広報のみのPRだったが、SNSや都内で行う各種イベントの際にも周知するように努める。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 部	4,200	4,100	4,100	100.0%	4,100	100.0%	3,594	87.7%
	②								
	③								
活動指標	① m	10,463		4,600	100.0%	2,285	49.7%	3,140	137.4%
	② 基	6		31	100.0%	20	64.5%	38	190.0%
	③ 件	9	14	17	121.4%	29	170.6%	12	41.4%
成果指標	① 頭	1,673	2,281	2,753	120.7%	1,850	67.2%	2,523	136.4%
	② 千円	11,568	11,294	12,031	106.5%	5,918	49.2%	3,100	52.4%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	有害鳥獣による農作物被害は明確な減少にはなっておらず、生息域については年々拡大傾向にある。引き続き有害鳥獣の捕獲や柵の設置を推進し、防護・捕獲・環境整備を一体的に実施していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① m	2,600	2,600	2,600	100.0%	2,600	100.0%	2,600	100.0%
	② ha	13	13	13	100.0%	13	100.0%	13	100.0%
	③								
活動指標	① 回	3	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① m	2,600	2,600	2,600	100.0%	2,600	100.0%	2,600	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	21	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	今後も継続して、林道・作業道の草刈りを行い良好な状態を保ち、安全な通行を確保し、道路の長寿命化や防犯上の予防及び景観の保全を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件			548	100.0%	548	100.0%	548	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 件	2	1	1	100.0%			1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 件	2	1	1	100.0%			1	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	2	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	15	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	歴史的街並み整備対象地区の見直し・検討を行い、より重点的なエリアでの整備の推進を図る。 併せて房総の小江戸大多喜をつくる会の組織の見直しを図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	景観形成地区の見直しや景観形成住民団体の再編成等を協議・検討して行く。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件			1	100.0%	16	1600.0%	13	81.3%
	②								
	③								
活動指標	① 回		1	1	100.0%	1	100.0%	2	200.0%
	②								
	③								
成果指標	① 件		1	1	100.0%			1	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	16	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	現制度では商店街（大多喜城下、中野、養老溪谷の3エリアのみ）の空き家や空き地のみでの起業が対象となっているが、他の場所での起業相談も少なくない現状である。今後対象エリアの見直しを含め継続していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	現状の制度では商店街（大多喜城下、中野、養老溪谷の3つのエリア）地域のみの起業が対象となっているが、この地域以外での起業相談もあるため、対象エリアの見直しを図る。また、制度周知のための情報発信に努め、各商店街の活性化を推進するため、広報紙やSNSによる周知を図って行く。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 社			512	100.0%	518	101.2%	516	99.6%
	②								
	③								
活動指標	① 回	10	10	11	110.0%	9	81.8%	10	111.1%
	② 件	1,633	1,274	1,348	105.8%	940	69.7%	1,166	105.8%
	③								
成果指標	① 数			318	100.0%	312	98.1%	307	98.4%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	15	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	町内中小企業の経営改善普及講習会開催、各種支援は引き続き実施していくことが必要である。また、各商店街の活性化を推進していくため関係機関や団体と連携し、振興策について協議・検討していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	町内中小企業の経営改善普及講習会開催、各種支援は引き続き実施していくことが必要である。また、各商店街の振興策を関係機関等と協議・検討して行く。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 社			512	100.0%	518	101.2%	516	99.6%
	②								
	③								
活動指標	① 回			1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 件	131	130	128	98.5%	127	99.2%	121	95.3%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	16	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	引き続き関係機関と連携を図り、事業を実施していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	引き続き関係機関と連携を図り、事業を実施していく。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件		1	1	100.0%				
	② 社			512	100.0%	518	101.2%	516	99.6%
	③								
活動指標	① 回			1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 件								
	② 件			1	100.0%	1	100.0%		
	③ 件								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	16	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	商工会や企業連絡協議会など関係団体を含め、今後情報を周知することを強化し、制度の周知に努め町内業者の活性化に努める。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	関係団体や町内外の事業者等へ制度のPRを強化するとともに、利用しやすい制度への見直しを図ることにより、企業誘致を推進し雇用の促進を図る。

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 回	2	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 千円	5,325	5,340	6,180	115.7%	6,480	104.9%	4,980	76.9%
	② 枚			36,000	100.0%	35,000	97.2%	35,000	100.0%
	③								
成果指標	① 人			985,174	100.0%	990,663	100.6%	943,627	95.3%
	②								
	③								

4. 評価			
視 点	評 価	評 価 内 容	
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか 	
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか 	
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか 	
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか 	
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか 	
総 合	17		

5. 評価結果による今後の方針、改革改善			
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容	
今後の方針	②事業継続	<p>民間と行政とが相乗効果が得られるよう役割分担をし、実行委員会として運営の負担軽減に努め、より活性化が図れる組織づくりの構築を目指す。</p>	

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容	
今後の方針	②事業継続	<p>民間と行政とが相乗効果が得られるよう役割分担をし、協働によるイベント運営を行い、観光振興を図る。</p>	

大多喜町事務事業評価表

平成 30 年度事業分 (事後 評価)

事務事業名		観光案内看板、観光トイレ改修事業			予算措置	一般	所 属	
実施計画	基本目標	産業・経済			款	6. 商工費		課 名 産業振興課
	施策項目	観光			項	1. 商工費		係 名 商工観光係
	主要施策	PR活動の強化と観光案内板の整備			目	3. 観光費		
計画期間	平成 30 年度	～令和 2 年度	事業	観光施設管理事業				
法令根拠				個別計画				

1. 事業内容	
◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)	
千葉～市原～大多喜までの国道297号沿いに、「大多喜市街地」、「房総の小江戸大多喜」のサイン看板を設置し、大多喜城や商店街への入込客を増やし地域振興にも繋がっていく。	
◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)	指標名称(対象の大きさを表す)
町外者対象 (観光目的の来町者)	① 観光案内看板設置数
	② 観光トイレ設置数
	③
◆手段 (具体的なやり方、手順)	指標名称(手段や活動内容を示す)
道路上、個人敷地を含めてその土地に看板を設置する。	① 観光案内看板新規設置数
	②
	③
◆成果 (どのような結果を求めるのか。)	指標名称(目的の達成度を示す)
観光客入込数の増加	① 観光客入込数
	②
	③

2. 事業費推移								(単位:千円)	
区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比	
総事業費	658	1,841	605	32.9%					
国庫支出金									
県支出金	438	1,227	372	30.3%					
地方債									
その他									
一般財源	220	614	233	37.9%					
総所要時間					80	100.0%	80	100.0%	
職員(時間内)					80	100.0%	80	100.0%	
職員(時間外)									
非常勤職員									

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件			14	100.0%				
	② 件			3	100.0%				
	③								
活動指標	① 件	2	1	1	100.0%				
	②								
	③								
成果指標	① 人	1,086,482	812,579	812,579	100.0%	990,663	121.9%	943,627	95.3%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	町内に設置されている既存看板の台帳整備を行い、設置状態等を調査し修繕計画を作成する。 また、関係機関とも連携を図り魅力ある看板にも配慮する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	設置されている既存看板の設置状態等を調査し、修繕計画を作成するための台帳整備を行う。引き続き関係機関との連携を図りながら魅力ある看板を設置し、観光客のおもてなし、魅力ある観光地づくりを行う。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人		120,232	130,710	108.7%	143,354	109.7%	153,500	107.1%
	② 人	1,086,482	812,579	985,174	121.2%	990,663	100.6%	943,627	95.3%
	③								
活動指標	① 回			1	100.0%				
	② 数			12	100.0%	12	100.0%	12	100.0%
	③								
成果指標	① 人	163	461	272	59.0%	357	131.3%	242	67.8%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	16	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	フェイスブックやSNSでの情報発信や観光パンフレットの充実を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	観光名所や宿泊施設への外国人の誘客を増加させるため、ホームページやSNSでの情報発信、観光パンフレットの充実を図る。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人		4,532	6,237	137.6%	4,914	78.8%	3,424	69.7%
	②								
	③								
活動指標	① 回		4	4	100.0%	4	100.0%	4	100.0%
	② 回		2	2	100.0%			2	100.0%
	③								
成果指標	① 人	1,086,237	812,579	985,174	121.2%	990,663	100.6%	943,627	95.3%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	商工観光係、観光協会が関係するイベントへの参加により実行委員会の活動が町民をはじめ、見物客や観光客へPR出来たことで、町の知名度アップや来訪者に繋がっている。県内外のゆかりのある自治体とも協力体制を強化し、今後も引き続き、関係機関と連携を図り実施していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	これまでの誘致活動の実績に加え、引き続き関係機関と連携を図り要望活動を実施していく。

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 日					27	100.0%	27	100.0%
	② 本					5	100.0%	5	100.0%
	③								
活動指標	① 回					2	100.0%	3	150.0%
	②								
	③								
成果指標	① 人					788	100.0%	705	89.5%
	②								
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	15	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	2市1町の広域連携事業として、それぞれのポテンシャルを活かすことで観光客の集客と利便性を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	関係団体で連携を強化し、それぞれの地域資源を活用した事業を展開し、観光客の増加を図る。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 社							1	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 回							18	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 人	1,086,237	812,579	985,174	121.2%	990,663	100.6%	943,627	95.3%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	16	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	地方創生推進交付金実施計画に基づき事業の推進を図り、地元地域との懇談会の実施、各種関係機関との連絡調整等、株式会社わくわくカンパニーを軸とした観光まちづくりの構築を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① Km	2.4	2.4	2.4	100.0%	2.0	83.3%	1.0	50.0%
	②								
	③								
活動指標	① 回	2						1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 千円	26,320	3,400	145,056	4266.4%			4,860	100.0%
	② Km								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	16	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	設計業務により工事費算出後、用地買収費、工事予算を予算化させ事業推進の推進を図る。 また、工事発注においては継続費で進めるか複数年事業として単年度ごとに工事発注するか検討する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	第2期整備区間中、小沢又から岩井原までの設計業務を実施しているので、この業務完了後の早期着工を目指し事業を推進する。また、地域との連携を図り、安全性と維持管理を考慮した施設整備を計画的に進めて行く。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 戸	10,943	10,935	10,864	99.4%	10,835	99.7%	10,820	99.9%
	②								
	③								
活動指標	① 件	19	8	8	100.0%	3	37.5%	6	200.0%
	② 回	2	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	③								
成果指標	① 件	9	8	8	100.0%	3	37.5%	6	200.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	再生エネルギー社会を迎え、今後もさらに省エネが促進されることから、事業継続はするものの補助対象設備については考慮のうえ、県の補助金制度を注視しながら実施していく必要がある。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

平成 **30** 年度事業分 (**事後** 評価)

事務事業名		漏水調査			予算措置	水道	所 属	
実施 計画	基本目標	生活環境			款	4. 衛生費	課 名	環境水道課
	施策項目	上水道・汚水処理			項	3. 上水道費	係 名	水道施設係
	主要施策	水道事業の健全運営			目	1. 上水道運営費		
計画期間	平成	30	年度～令和	2	年度	事業	漏水調査業務	
法令根拠	地方公営企業法				個別計画			

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

水道事業における現時点での有収率は86%となっており、今後90%以上を目標値として掲げることから、有収率向上に向け漏水調査の徹底等に取り組んでいく必要がある。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

漏水調査員 (臨時職員) による漏水調査を行うとともに漏水の有無の判断をするための量水器設置工事を実施する。

指標名称 (対象の大きさを表す)

- | | |
|---|-----------|
| ① | 漏水調査に係る日数 |
| ② | |
| ③ | |

◆手段 (具体的なやり方、手順)

各浄配水場、地区別の配水量を把握し、系統別に漏水の有無を判断するために各所に量水器の設置を行う。

指標名称 (手段や活動内容を示す)

- | | |
|---|------|
| ① | 設置箇所 |
| ② | |
| ③ | |

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

漏水調査及び量水器設置による配水流量の確認等により、早急な漏水対応が図れ有収率の向上へ繋がる。

指標名称 (目的の達成度を示す)

- | | |
|---|--------|
| ① | 漏水修理件数 |
| ② | |
| ③ | |

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総 事 業 費			2,300	100.0%	1,824	79.3%	2,114	115.9%
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
そ の 他			2,300	100.0%	1,824	79.3%	2,114	115.9%
一 般 財 源								
総 所 要 時 間			1,680	100.0%	1,920	114.3%	1,920	100.0%
職員 (時間内)								
職員 (時間外)								
非常勤職員			1,680	100.0%	1,920	114.3%	1,920	100.0%

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 日			210	100.0%	240	114.3%	240	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 箇所			1	100.0%	1	100.0%		
	②								
	③								
成果指標	① 件			48	100.0%	31	64.6%	41	132.3%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	24	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	今後についても、引続き有収率向上に向け漏水調査業務を実施する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

事務事業No.

85

平成 **30** 年度事業分 (**事後** 評価)

事務事業名		面白浄水場改修事業			予算措置	水道	所 属	
実施 計画	基本目標	生活環境			款	4. 衛生費	課 名	環境水道課
	施策項目	上水道・汚水処理			項	3. 上水道費	係 名	水道施設係
	主要施策	水道事業の健全運営			目	1. 上水道運営費		
計画期間	平成 30 年度～令和 2 年度	事業			面白浄水場の更新			
法令根拠	地方公営企業法			個別計画				

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

面白浄水場については、建設から既に50年が経過し、施設の経年劣化が目立つことから改修工事を実施する。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

施設改修に向けた造成工事
施設更新工事 (本土工)

指標名称 (対象の大きさを表す)

- ① 造成工事日数
- ② 更新工事日数
- ③

◆手段 (具体的なやり方、手順)

面白浄水場改修予定地の取得

指標名称 (手段や活動内容を示す)

- ① 取得件数
- ②
- ③

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

改修工事を実施することにより水質の安定化、ランニングコストの軽減、施設の耐震化が見込め、水道水の安定供給が見込めるとともに有収率の向上が図れる。

指標名称 (目的の達成度を示す)

- ① 有収率
- ② 水道水の供給日数
- ③

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総 事 業 費	7,060	8,640	300,000	3472.2%	47,196	15.7%		
国庫支出金								
県支出金								
地方債			300,000	100.0%	45,000	15.0%		
そ の 他					2,196	100.0%		
一 般 財 源	7,060	8,640						
総 所 要 時 間	160	80	90	112.5%	480	533.3%	940	195.8%
職員 (時間内)	160	80			480	100.0%	940	195.8%
職員 (時間外)								
非常勤職員			90	100.0%				

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 日	10	10	90	900.0%	120	133.3%		
	② 日							235	100.0%
	③								
活動指標	① 件	5							
	②								
	③								
成果指標	① %	88	90	89	98.9%	87	97.8%	86	98.9%
	② 日					365	100.0%	365	100.0%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	引続き施設更新に向けて、改修計画に取り組む。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①箇所			1	100.0%	1	100.0%		
	②								
	③								
活動指標	①箇所			1	100.0%	1	100.0%		
	②								
	③								
成果指標	①箇所			1	100.0%	1	100.0%		
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	引き続き配水施設の改修に取り組みランニングコストの削減に努める。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① m	809	1,159	300	100.0%	300	100.0%	635	211.7%
	②								
	③								
活動指標	① 箇所	7	4	6	100.0%	3	50.0%	4	133.3%
	②								
	③								
成果指標	① %	88	90	89	100.0%	87	97.8%	86	98.9%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	今後も有収率向上に向けて、配水管布設替工事を実施する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

事務事業No.

88

平成 **30** 年度事業分 (**事後** 評価)

事務事業名		水質管理体制の強化			予算措置	水道	所 属	
実施 計画	基本目標	生活環境			款	4. 衛生費	課 名	環境水道課
	施策項目	上水道・汚水処理			項	3. 上水道費	係 名	水道施設係
	主要施策	水道事業の健全運営			目	1. 上水道運営費		
計画期間	平成	30	年度～令和	2	年度	事業	水質管理体制の強化	
法令根拠	地方公営企業法				個別計画			

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

毎日の簡易検査、毎月の多項目検査、各浄水場の水質状況を日々監視する必要があることから水質管理体制の強化に努める必要がある。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

日々の水質検査業務実施及び薬品注入の設定

指標名称(対象の大きさを表す)

- | | |
|---|----------|
| ① | 水道水の供給日数 |
| ② | |
| ③ | |

◆手段 (具体的なやり方、手順)

浄水の採水試験及び浄水への薬品添加

指標名称(手段や活動内容を示す)

- | | |
|---|---------------|
| ① | 浄水の採水及び薬品添加日数 |
| ② | |
| ③ | |

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

日々、安全で安定した水道水の供給が図れる。

指標名称(目的の達成度を示す)

- | | |
|---|----------|
| ① | 水道水の供給日数 |
| ② | |
| ③ | |

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総 事 業 費			2,700	100.0%	3,037	112.5%	3,235	106.5%
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
そ の 他			2,700	100.0%	3,037	112.5%	3,235	106.5%
一 般 財 源								
総 所 要 時 間			1,460	100.0%	1,460	100.0%	1,460	100.0%
職員 (時間内)								
職員 (時間外)								
非常勤職員			1,460	100.0%	1,460	100.0%	1,460	100.0%

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 日			365	100.0%	365	100.0%	365	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 日			365	100.0%	365	100.0%	365	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 日			365	100.0%	365	100.0%	365	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	今後も水質管理体制の徹底に努める。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 戸	10,943	10,935	10,864	99.4%	10,835	99.7%	10,820	99.9%
	②								
	③								
活動指標	① 件	13	11	7	63.6%	8	114.3%	6	75.0%
	② 回	2	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	③								
成果指標	① 件	33	22	28	127.3%	25	89.3%	20	80.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	22	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	水環境の適正な処理の観点から、汲取り処理又は単独処理浄化槽からの転換設置を促す必要があるため、国・県の補助制度を注視しながら周知を行う必要がある。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① kg			15,600	100.0%	718,235	4604.1%		
	②								
	③								
活動指標	① kg			14,410	100.0%	792,575	5500.2%		
	②								
	③								
成果指標	① kg			-1,200	100.0%	-74,340	6195.0%		
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	15	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	町内全戸に水切り器「水切りダイエット」を配布したが、引き続き町民へごみの減量化を意識づけるため、継続的に啓発に務める必要がある。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	25 年度	26 年度	27 年度	前年比	28 年度	前年比	29 年度	前年比
対象指標	① 戸		9,661	9,471	98.0%	9,323	98.4%	9,065	97.2%
	②								
	③								
活動指標	① 人		3,853	3,826	99.3%	3,810	99.6%	3,797	99.7%
	② 回		12	12	100.0%	12	100.0%	12	100.0%
	③								
成果指標	① kg		2,384,825	2,183,180	91.5%	2,160,180	98.9%	2,167,800	100.4%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	24	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	廃棄物の適正な排出の徹底と、ごみの減量化に対する町民の意識を高揚する事業の展開を図りたい。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

事務事業No.

92

平成 30 年度事業分 (事後 評価)

事務事業名		一般廃棄物(ガラス・陶器類資源化)運搬処分委託事業			予算措置	一般	所 属	
実施 計画	基本目標	生活環境			款	4. 衛生費		課 名 環境水道課
	施策項目	衛生管理			項	2. 清掃費		係 名 環境センター係
	主要施策	ごみの排出抑制・再利用・再生利用の意識の高揚			目	2. 塵芥処理費		
計画期間	平成 30 年度	～令和 2 年度	事業	環境センター運営事業				
法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			個別計画				

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

一般廃棄物には可燃ごみの他ガラス、陶器類排出をされる。平成27年度まではこれらは最終処分場において処分をしていた。循環型社会の到来によりこれら廃棄物も資源化を図ることが求められる。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

一般廃棄物として排出をされるガラス、陶器類の搬入量

指標名称(対象の大きさを表す)

①	ガラス、陶器類の年間排入量
②	
③	

◆手段 (具体的なやり方、手順)

一般家庭等から適正にガラス、陶器類の排出を促し、資源化するため専門業者に委託する。

指標名称(手段や活動内容を示す)

①	委託業者数
②	町民への広報の回数
③	

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

廃棄物からリサイクル資源へとしたガラス、陶器類のリサイクル量

指標名称(目的の達成度を示す)

①	資源化された量
②	
③	

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総 事 業 費			1,507		1,354	89.8%	1,369	101.1%
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
そ の 他								
一 般 財 源			1,507		1,354	89.8%	1,369	101.1%
総 所 要 時 間			480		430	89.6%	430	100.0%
職員 (時間内)			192		170	88.5%	170	100.0%
職員 (時間外)								
非常勤職員			288		260	90.3%	260	100.0%

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① kg			43,600	100.0%	40,000	91.7%	40,000	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 社			1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%
	② 回			12	100.0%	12	100.0%	12	100.0%
	③								
成果指標	① kg			43,190	100.0%	39,170	90.7%	39,610	101.1%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	25	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	平成28年度から再資源化し、引き続きリサイクル率の向上を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

事務事業No.

93

平成 30 年度事業分 (事後 評価)

事務事業名		コンテナによる資源ごみ回収事業			予算措置	一般	所 属	
実施 計画	基本目標	生活環境			款	4. 衛生費		課 名 環境水道課
	施策項目	衛生管理			項	2. 清掃費		係 名 環境センター係
	主要施策	ごみの排出抑制・再利用・再生利用の意識の高揚			目	2. 塵芥処理費		
計画期間	平成 30 年度	～令和 2 年度	事業	環境センター運営事業				
法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			個別計画				

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

ごみの資源化と収集の効率化を目的として、コンテナを設置しているが、コンテナの中に収集品目以外のごみを入れているなど課題がある。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

収集運搬の効率化と再資源化を目的とし、町内 1 1 区 6 5 か所に、缶及びビン (無色、茶色、その他) のコンテナを設置する。

指標名称 (対象の大きさを表す)

- | | | |
|----------|---|------|
| 対象
指標 | ① | 住民人数 |
| | ② | |
| | ③ | |

◆手段 (具体的なやり方、手順)

収集日前日に集積所に設置し、収集日当日に回収する。

指標名称 (手段や活動内容を示す)

- | | | |
|----------|---|------|
| 活動
指標 | ① | 収集回数 |
| | ② | |
| | ③ | |

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

収集運搬と分別処理の効率化が図られる。

指標名称 (目的の達成度を示す)

- | | | |
|----------|---|-------------------|
| 成果
指標 | ① | 処理時間 (回収時間及び分別時間) |
| | ② | |
| | ③ | |

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総事業費								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源								
総所要時間			1,000	100.0%	1,000	100.0%	1,000	100.0%
職員 (時間内)			880	100.0%	880	100.0%	880	100.0%
職員 (時間外)								
非常勤職員			120	100.0%	120	100.0%	120	100.0%

3. 指標の推移

指標区分	単位	25 年度	26 年度	27 年度	前年比	28 年度	前年比	29 年度	前年比
対象指標	① 人			9,471	100.0%	9,323	98.4%	9,065	97.2%
	②								
	③								
活動指標	① 回			26	100.0%	26	100.0%	26	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 時間			150	100.0%	150	100.0%	150	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	収集の効率化を図るため、集積場所における排出量に応じたコンテナ量の適切な配置を行う。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	17,055	16,726	16,232	97.0%	15,927	98.1%	15,570	97.8%
	②								
	③								
活動指標	① 件	316	291	303	104.1%	306	101.0%	339	110.8%
	②								
	③								
成果指標	① 日	217	199	201	101.0%	199	99.0%	206	103.5%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	23	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	適切な施設運営を図るため、施設の維持・管理を注意深く行い、改修事業を計画的に実施していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

事務事業No.

95

平成 30 年度事業分 (事後 評価)

事務事業名		地域子育て支援センター運営事業			予算措置	一般	所 属	
実施 計画	基本目標	健康・福祉			款	3. 民生費		課 名 教育 課
	施策項目	子育て環境			項	2. 児童福祉費		係 名 保 育 園 係
	主要施策	子育て支援環境の整備			目	4. 児童福祉施設費		
計画期間	平成 30 年度	～令和 2 年度	事業	地域子育て支援センター運営事業				
法令根拠	厚生労働省通達			個別計画				

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

この事業は、核家族化が進行する中で、育児不安の解消をサポートするため、町内2ヶ所(各保育園)で育児相談や育児指導、交流会の開催、出前保育のほか子育てや食育に関する情報提供を平成16年度から実施している。実施内容等の見直しや利用しやすい環境の整備を行うなど、利用者の増加を図りたい。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

保育園内に子育て支援センターを設置し、未就園児とその保護者を対象に育児相談等を実施し、育児不安の解消や育児に関する情報を提供するなどの子育て支援を行った。

指標名称(対象の大きさを表す)

①	対象人口数(未就園児)
②	
③	

◆手段 (具体的なやり方、手順)

通常時は直接支援センターを訪れ自由に利用し、イベント開催については年間行事を作成し年度初めに対象者へ通知して案内している。利用については事前に申込みの上、参加費を負担して利用する。地域に出向いて開催する出前保育について継続して実施し利便性の向上を図った。

指標名称(手段や活動内容を示す)

①	出前保育利用者数
②	
③	

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

- ・保護者の育児不安の解消
- ・健全な子育て

指標名称(目的の達成度を示す)

①	子育て支援センター利用者数
②	
③	

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総 事 業 費	8,641	6,533	5,155	78.9%	6,013	116.6%	6,372	106.0%
国庫支出金	3,710	2,484	2,447	98.5%	2,239	91.5%	2,247	100.4%
県 支 出 金		2,173	1,713	78.8%	1,999	116.7%	2,122	106.2%
地 方 債								
そ の 他	12	12	14	116.7%	16	114.3%		
一 般 財 源	4,919	1,864	981	52.6%	1,759	179.3%	2,003	113.9%
総 所 要 時 間	3,840	3,840	3,840	100.0%	3,314	86.3%	3,346	101.0%
職員 (時間内)	2,400	2,400	2,400	100.0%	2,400	100.0%	2,400	100.0%
職員 (時間外)								
非常勤職員	1,440	1,440	1,440	100.0%	914	63.5%	946	103.5%

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	151	154	128	83.1%	130	101.6%	98	75.4%
	②								
	③								
活動指標	① 人	60	75	167	222.7%	110	65.9%	124	112.7%
	②								
	③								
成果指標	① 人	1,345	1,063	1,638	154.1%	1,445	88.2%	1,128	78.1%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>育児に不安を抱えている保護者などの育児相談や同世代の子どもを育児している保護者同士が知り合うには非常に有効であります。 今後も事業を継続し、対象者への周知方法を見直し利用増を推進する。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

事務事業No.

96

平成 30 年度事業分 (事後 評価)

事務事業名		児童クラブ運営事業			予算措置	一般	所 属	
実施計画	基本目標	健康・福祉			款	3. 民生費		課 名 教育 課
	施策項目	子育て環境			項	2. 児童福祉費		係 名 保 育 園 係
	主要施策	子育て支援環境の整備			目	4. 児童福祉施設費		
計画期間	平成 30 年度	～令和 2 年度	事業	児童クラブ運営事業				
法令根拠	大多喜町放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例・同条施行規則			個別計画				

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

核家族化が進行し共働き世帯が増加する中、両親の就業等により放課後家庭において保護を受けることのできない児童を保育し、子育て支援を図るため、本事業は平成14年度から実施している。利用者は、児童数の減少とは反対に近年増加が続いている。特に、夏休み期間の利用希望者が多く環境の整った施設確保に苦慮している。学童クラブは、町内に2ヶ所で老川、西畑地区は、西小学校内に「つくし」、総元、大多喜、上瀑地区は旧上瀑小学校内に「たんぼぼ」を設置している。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

この事業は、共働き家庭等の放課後家庭において保護を受けることのできない児童の健全育成を図るため、学童クラブにおいて一定時間生活指導等を行う。

指標名称(対象の大きさを表す)

- | | | |
|------|---|-------|
| 対象指標 | ① | 入所児童数 |
| | ② | |
| | ③ | |

◆手段 (具体的なやり方、手順)

- ・入所申込みに対して審査の結果、決定通知を交付し、一ヶ月毎に納付書を発行する。
- ・夏休みは、別途募集及び決定を行う。

指標名称(手段や活動内容を示す)

- | | | |
|------|---|------|
| 活動指標 | ① | 申込件数 |
| | ② | |
| | ③ | |

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

- ・児童の安全確保
- ・保護者への就業機会の提供と就労時間の確保

指標名称(目的の達成度を示す)

- | | | |
|------|---|-------|
| 成果指標 | ① | 使用料の額 |
| | ② | |
| | ③ | |

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総事業費	12,934	17,388	16,123	92.7%	12,259	76.0%	16,497	134.6%
国庫支出金		3,067	3,098	101.0%	3,893	125.7%	3,906	100.3%
県支出金	4,928	3,067	3,093	100.8%	3,179	102.8%	3,259	102.5%
地方債								
その他	4,680	5,289	5,255	99.4%	5,187	98.7%	5,393	104.0%
一般財源	3,326	5,965	4,677	78.4%			3,939	100.0%
総所要時間	10,840	10,840	10,840	100.0%	11,659	107.6%	11,452	98.2%
職員(時間内)	240	240	240	100.0%	240	100.0%	240	100.0%
職員(時間外)								
非常勤職員	10,600	10,600	10,600	100.0%	11,419	107.7%	11,212	98.2%

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	75	82	78	95.1%	81	103.8%	84	103.7%
	②								
	③								
活動指標	① 件	75	82	78		81	103.8%	84	103.7%
	②								
	③								
成果指標	① 円	4,680	5,289	5,255	99.4%	5,187	98.7%	5,393	104.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	20	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>関係職員の研修等を実施し、職員の知識向上を図る。 児童の安全確保のため、関係職員へ救急法の講習を継続的に実施していく。 利用者へのサービス向上や経費削減を図るため、運営方法等の見直しを検討していく。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

平成 30 年度事業分 (事後 評価)

事務事業名		小学校外国語活動推進事業	予算措置	一般	所 属	
実施計画	基本目標	教育・文化	款	9.教育費	課 名	教 育 課
	施策項目	子ども教育	項	2.小学校費	係 名	学 校 教 育 係
	主要施策	学校教育における「確かな学力」の育成【重要】	目	2.教育振興費		
計画期間	平成 30 年度～令和 2 年度	事業	2261小学校教育振興事業			
法令根拠		個別計画	小学校外国語活動推進事業			

1. 事業内容						
◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)						
<p>・保育園で「英語で遊ぼう」「親子英語遊び教室」を実施しており、小学校3・4学年の外国語活動、小学校5・6年及び中学校の教科英語につながるよう、小学校1・2年でALTを活用し週1時間外国語活動を実施している。</p>						
◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">対象指標</td> <td>指標名称(対象の大きさを表す)</td> </tr> <tr> <td>① 児童数</td> </tr> <tr> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> </tr> </table>	対象指標	指標名称(対象の大きさを表す)	① 児童数	②	③
対象指標	指標名称(対象の大きさを表す)					
	① 児童数					
	②					
	③					
◆手段 (具体的なやり方、手順)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">活動指標</td> <td>指標名称(手段や活動内容を示す)</td> </tr> <tr> <td>① 外国人講師数</td> </tr> <tr> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> </tr> </table>	活動指標	指標名称(手段や活動内容を示す)	① 外国人講師数	②	③
活動指標	指標名称(手段や活動内容を示す)					
	① 外国人講師数					
	②					
	③					
◆成果 (どのような結果を求めるのか。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">成果指標</td> <td>指標名称(目的の達成度を示す)</td> </tr> <tr> <td>① 授業時数</td> </tr> <tr> <td>②</td> </tr> <tr> <td>③</td> </tr> </table>	成果指標	指標名称(目的の達成度を示す)	① 授業時数	②	③
成果指標	指標名称(目的の達成度を示す)					
	① 授業時数					
	②					
	③					

2. 事業費推移								
								(単位:千円)
区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総事業費		584	700	119.9%	700	100.0%	425	60.7%
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源		584	700	119.9%	700	100.0%	425	60.7%
総所要時間		700	700	100.0%	700	100.0%	560	80.0%
職員(時間内)		700	700	100.0%	700	100.0%	560	80.0%
職員(時間外)								
非常勤職員								

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人		226	221	97.8%	234	105.9%	113	48.3%
	②								
	③								
活動指標	① 人		2	2	100.0%	2	100.0%	1	50.0%
	②								
	③								
成果指標	① 時間		15	17	113.3%	17	100.0%	35	205.9%
	②								
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	22	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	外国語教育について町では、本事業を含め、保育園・小学校・中学校の継続的な学習を図る。また、子どもたちが外国語を体系的に学ぶことができるよう、ALTの増員や英語教育支援アドバイザーを継続して業務委託する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

平成 30 年度事業分 (事後 評価)

事務事業名		教育用パソコン導入事業			予算措置	一般	所 属	
実施計画	基本目標	教育・文化			款	9.教育費	課 名	教 育 課
	施策項目	子ども教育			項	2.小学校費	係 名	学 校 教 育 係
	主要施策	学校関係施設の充実			目	1.学校管理費		
計画期間	平成 30 年度	～令和 2 年度	事業	小学校施設管理事業				
法令根拠				個別計画				

1. 事業内容	
◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)	
児童の教育用パソコン及び教職員用の校務用パソコンが導入され、教育振興として活用されている。	
◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)	指標名称(対象の大きさを表す)
児童の教育用パソコン及び教職員用の校務用パソコンを導入する。	① 児童数
	② 教職員
	③
◆手段 (具体的なやり方、手順)	指標名称(手段や活動内容を示す)
6年間のリース契約による。	① パソコン導入台数
	②
	③
◆成果 (どのような結果を求めるのか。)	指標名称(目的の達成度を示す)
授業の効率化及び教育振興の向上が図られた。	① 使用時間
	②
	③

2. 事業費推移								
(単位:千円)								
区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総事業費			5,974	100.0%	5,974	100.0%	5,974	100.0%
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他			5,974	100.0%	5,974	100.0%	5,974	100.0%
一般財源								
総所要時間								
職員(時間内)			0		0		0	
職員(時間外)								
非常勤職員								

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人			344	100.0%	346	100.6%	343	99.1%
	② 人			37	100.0%	39	105.4%	39	100.0%
	③								
活動指標	① 台			104	100.0%	104	100.0%	104	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 時間			134	100.0%	119	88.4%	133	112.2%
	②								
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	21	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	授業の効率化及び教育振興の向上を図るため、今後も継続していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①			26	100.0%	26	100.0%	26	100.0%
	②								
	③								
活動指標	①			17	100.0%	10	58.8%		
	②								
	③								
成果指標	①			2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%
	②								
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	小中学校の空調設置事業を、平成30年度に予算化・契約を済ませ、普通教室等に平成31年7月までに設置予定。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	1,185	684	638	93.3%	634	99.4%	608	95.9%
	②								
	③								
活動指標	① 日	201	199	199	100.0%	202	101.5%	209	103.5%
	② 回	3	3	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%
	③								
成果指標	① 食数	223,420	124,042	119,026	96.0%	116,307	97.7%	112,006	96.3%
	②								
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	4	・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	5	・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	24	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	給食施設及び調理器具等の老朽化が進んでいるため、計画的に施設修繕や調理器具等の更新を行い、学校給食の安定供給を図るとともに学校用務員や配送業者従業員も含めた職員研修を年2回実施し、衛生管理の意識の向上並びに徹底を図る。 また、今後の運営方針として業務委託化についての検討を進める。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人			458	100.0%	458	100.0%	442	96.5%
	②								
	③								
活動指標	① 人			229	100.0%	360	157.2%	367	101.9%
	② 人			229	100.0%	98	42.8%	75	76.5%
	③								
成果指標	① 人			160	100.0%	160	100.0%	160	100.0%
	② 人			152	100.0%	164	107.9%	145	88.4%
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	15	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	町としてどのように大多喜高校の維持にむけて支援していくか協議し、大多喜高校が行う「特色ある学校づくり」を的確に支援していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

大多喜町事務事業評価表

事務事業No.

104

平成 30 年度事業分 (事後 評価)

事務事業名		保育園事業の充実			予算措置		一般	所 属	
実施計画	基本目標	健康・福祉			款	3. 民生費		課 名	教 育 課
	施策項目	子育て環境			項	2. 児童福祉費		係 名	保 育 園 係
	主要施策	保育サービスの充実			目	4. 児童福祉施設費			
計画期間		平成 30 年度	～令和 2 年度	事業	保育園管理運営事業				
法令根拠	児童福祉法			個別計画	大多喜町子ども・子育て支援事業計画				

1. 事業内容

◆現況と課題 (これまでの経過や事業実施の背景)

保育園の統合を行い、平成12年4月につぐみの森保育園、平成16年4月にはみつば保育園を多様な保育ニーズに応えるため総合的保育園として整備・開園した。
少子化傾向は続いていることから、入園者は減少しているが、核家族化の進展により0歳児から2歳児の需要が増えているため、待機児童は出ていないものの保育士(臨時職員)の確保を図る必要がある。

◆目的・対象 (誰に、何を対象として事業を実施したか)

園児の安全と健康増進に向け保育環境や設備の整備・管理を図っている。
保護者のニーズに応えられるよう、送迎バスの運行のほか乳児保育、一時保育、休日保育、延長保育などの保育サービスを実施した。

指標名称(対象の大きさを表す)

対象指標	①	0歳～6歳住民基本台帳人口(H31.3.31)
	②	
	③	

◆手段 (具体的なやり方、手順)

保育園入園について、広報掲載等により周知を行った。保護者からの保育認定申請により、保育の必要について認定を行うとともに保育園入園申請書により保育園の入所について決定した。
一時保育や休日保育については、事前の申請書の提出によりサービスの利用が出来る。

指標名称(手段や活動内容を示す)

活動指標	①	休日保育延べ利用者数
	②	送迎バス延べ利用者数
	③	

◆成果 (どのような結果を求めるのか。)

乳幼児を保育することで、次代を担う児童の健全な育成を図り、保護者の就労の機会などを確保する。

指標名称(目的の達成度を示す)

成果指標	①	入園児童数(H31.3.31)
	②	
	③	

2. 事業費推移

(単位:千円)

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
総 事 業 費	227,677	212,360	211,829	99.7%	230,948	109.0%	251,188	108.8%
国庫支出金	231	231	182	78.8%	135	74.2%	52	38.5%
県支出金	637	320	150	46.9%	85	56.7%	68	80.0%
地方債								
そ の 他	49,490	46,221	46,978	101.6%	42,589	90.7%	45,840	107.6%
一 般 財 源	177,319	165,588	164,519	99.4%	188,139	114.4%	205,228	109.1%
総 所 要 時 間	82,560	82,560	85,718	103.8%	81,541	95.1%	74,911	91.9%
職員(時間内)	53,760	51,840	52,731	101.7%	52,080	98.8%	44,640	85.7%
職員(時間外)								
非常勤職員	28,800	30,720	32,987	107.4%	29,461	89.3%	30,271	102.7%

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	369	362	340	93.9%	342	100.6%	310	90.6%
	②								
	③								
活動指標	① 回	63		1	100.0%	8	800.0%	4	50.0%
	② 人	536	541	401	74.1%	477	119.0%	346	72.5%
	③								
成果指標	① 人	218	208	212	101.9%	212	100.0%	212	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	21	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	人口は減少傾向にあるものの、働き方が多種多様となり3歳未満児の利用希望や延長保育、休日保育の利用などが増加傾向にある。保育ニーズの多様化に合わせた運営体制を整えていく必要がある。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人		161	146	100.0%	150	102.7%	152	101.3%
	②								
	③								
活動指標	① 回			3	100.0%	1	33.3%	1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 組		63	62	100.0%	58	93.5%	65	112.1%
	② 回		117	114	100.0%	114	100.0%	114	100.0%
	③ 人								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	保育園から小・中・高と学びの連続性を図るため今後も事業を継続していくとともに実施体制の確立を図る。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	保育園から小・中・高と学びの連続性を図るため今後も事業を継続していくとともに実施体制の確立を図る。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人							317	100.0%
	② 人			195	100.0%	189	96.9%	176	93.1%
	③								
活動指標	① 日							194	100.0%
	② 日			53	100.0%	193	364.2%	191	99.0%
	③								
成果指標	① 食数							60,414	100.0%
	② 食数			9,264	100.0%	34,588	373.4%	32,321	93.4%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	5	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	5	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	5	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	25	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	子育て世代の経済的負担を軽減し、教育の充実に資するとともに、子育て支援を行っていくため、継続して実施する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人					9,300	100.0%	9,070	97.5%
	②								
	③								
活動指標	① 回					1	100.0%	1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 人					42	100.0%	32	76.2%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	男女共同参画意識の定着は、一時的な啓発活動では達成できず、継続していくことが求められる。 また、事業の内容を見直しをして、参加しやすい講座等を実施していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人					1,600	100.0%	1,580	98.8%
	②								
	③								
活動指標	① 回					4	100.0%	7	175.0%
	②								
	③								
成果指標	① 人					48	100.0%	52	108.3%
	② 人								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	青年サークルの会員の増加、青年サークル会員主体のサークル活動が実施できるよう支援する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	青年サークルの会員の増加、青年サークル会員主体のサークル活動が実施できるよう支援する。

3. 指標の推移									
指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 件		119	163	137.0%	217	133.1%	122	56.2%
	②								
	③								
活動指標	① 部		5,000	5,000	100.0%	5,000	100.0%	5,000	100.0%
	② 回		1	2	200.0%	2	100.0%	2	100.0%
	③								
成果指標	① 件		13	16	123.1%	11	68.8%	10	90.9%
	②								
	③								

4. 評価		
視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	15	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善		
区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	<p>移住希望者が大多喜町に関心を持ち、職や住宅を確保し、実際に定着してもらえるよう図書館からも情報を発信していく。</p> <p>令和元年度第8号・9号、2年度第10号、11号発行予定。人気のある冊子なので、今後、違った視点で内容の検討をして継続発行していく。</p>

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人			5,191	#REF!	5,351	103.1%	5,532	103.4%
	②								
	③								
活動指標	① 回					228	100.0%	301	132.0%
	②								
	③								
成果指標	① 人			6,228	#REF!	6,776	108.8%	7,326	108.1%
	② 冊			26,290	#REF!	30,192	114.8%	33,458	110.8%
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	図書館の利便性と利用増大を図るため事業を継続していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人							13,500	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 箇所							1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 人							13,500	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	⑤事業完了	平成30年度に計画した本事業は完了した。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人	5,241	5,802	6,228	107.3%	6,776	108.8%	7,326	108.1%
	②								
	③								
活動指標	① 箇所							1	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 冊	20,747	22,994	26,290	114.3%	30,192	114.8%	33,458	110.8%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	平成30年度に計画した事業は完了した。令和元年度に本体工事着工・完成。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 団体					36	100.0%	36	100.0%
	②								
	③								
活動指標	① 団体					5	100.0%	31	620.0%
	②								
	③								
成果指標	① 団体					1	100.0%	6	600.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施理由が適切なものであるか ・住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が目的どおり実施され効果が得られているか ・事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか ・費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか ・町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業よりも優先的に実施すべきか ・町全体の計画として優先すべきか
総 合	19	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	各文化団体の会員の高齢化や会員数の維持に向けて支援を充実させ、芸術・文化活動を活性化するために事業を継続していく。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	各文化団体の会員の高齢化や会員数の維持に向けて支援を充実させ、芸術・文化活動を活性化するために事業を継続して行く。

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	①							9,318	100.0%
	②								
	③								
活動指標	①							308	100.0%
	②								
	③								
成果指標	①							4,653	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	4	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	3	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	18	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	⑤事業完了	改善が図れたことにより完了とする。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		

3. 指標の推移

指標区分	単位	26 年度	27 年度	28 年度	前年比	29 年度	前年比	30 年度	前年比
対象指標	① 人							9,070	100.0%
	② 人							100,000	100.0%
	③								
活動指標	① 日							60	100.0%
	②								
	③								
成果指標	① 箇所							1	100.0%
	②								
	③								

4. 評価

視 点	評 価	評 価 内 容
目的妥当性	4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施理由が適切なものであるか 住民ニーズに照らし、町が担う必然性があるか
有効性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業が目的どおり実施され効果が得られているか 事業の成果はあったか
効率性	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施過程の効率化及び事業費の縮減が図られているか 費用対効果はどうか
公平性	3	<ul style="list-style-type: none"> 効果の受益及び費用負担が公平に配分されているか 町全体の計画として公平であるか
優先性	4	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業よりも優先的に実施すべきか 町全体の計画として優先すべきか
総 合	17	

5. 評価結果による今後の方針、改革改善

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針	②事業継続	次年度の完成に向けて、関係者との連絡調整を円滑に行い事業を遂行する。

2次評価による今後の方針及び評価意見等

区 分	評価結果	改 革 改 善 内 容
今後の方針		